

1. 前提と目的

- 福岡市動植物園は、昭和28年に動物園エリア、昭和55年に植物園エリアが開園後、長年にわたり市民に親しまれてきたが、動物の飼育環境や施設の耐久性等に問題が生じていることを受けて、平成18年に「動植物園再生基本計画」を策定し再整備を進めており、令和4年に第1期整備が完了したところである。
- 一方で、植物園は福岡市が平成30年より展開する一人一花運動の拠点に位置付けられ、一人一花運動が目指す「花による共創のまちづくり」をさらに広げ定着させるために、花がツールとして定着する流れを継続的に作り出すための機能強化に取り組んでいる。
- 本資料では、一人一花運動の拠点機能強化と合わせて、環境教育や生物多様性への取り組み、市民憩いの場の創出など「動植物園再生基本計画」をさらに推進するために、植物園の対象エリアについてハード、ソフトの両面から基本となるアイデアを提示する。

動植物園再生事業

- ・H16 動植物園再生基本構想
- ・H18 動植物園再生基本計画
- ・H19～R4 第1期整備
- ・R6～ 動植物園再生基本計画の修正

一人一花運動

- ・H30 植物園を拠点として位置づけ
- ・R5 ボタニカルライフスクエアオープン（一人一花運動の拠点施設）
- ・R6～植物園リニューアル(先行整備)

福岡市植物園一人一花運動拠点機能強化に向けた基本的な考え方

※動植物園再生事業全体における植物園の基本計画は、「福岡市動植物園再生基本計画」の修正に合わせて改めて整理する。

2. 方向性

(1)一人一花運動の拠点として植物園が目指す方向性

「花による共創のまちづくり」を定着させるために植物園がもつポテンシャルを最大限に活用し、4つの機能強化に重点的に取り組む。

① 一人一花運動を始めたくなるきっかけづくり



360°植物に囲まれたロケーションで、花・緑のある生活の良さを実感する



自宅でも簡単に真似できる“一坪ガーデン”



生き生きと活動するボランティア等の姿を見ることが出来る

② 様々な主体が交流できる共創の場づくり



ガーデンビジネスに関わる多様な主体が交流、表現する場がある



様々な主体の交流が「まち」にも広がる



市民や企業にとって、Well-being等につながるという価値を持つ場となる

③ 一人一花運動を担うガーデナーとしての人材育成や活躍の場づくり



様々なガーデナーを育成する場がある（プランニング）

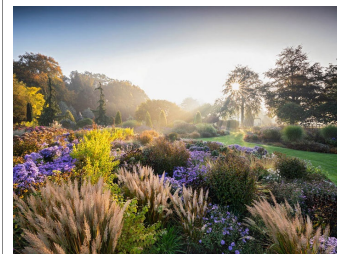


様々なガーデナーを育成する場がある（現地実習）



育った人材が「まち」で活躍する仕組みをつくる

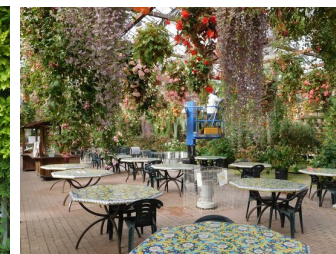
④ 誰もが訪れたくなるようなワクワク感の向上



回遊することがショーとなるような、エリアごと、季節ごとの変化がある



植物園の顔となるようなシンボリックな映えスポットがある



思い出となる花・緑のある空間での飲食や、グッズの購入などができる

(2)動植物園再生事業としての方向性

一人一花運動の拠点としての方向性も踏まえながら、動植物園再生事業をすすめていく上で目指すべき基本的な方向性を再整理する。

<「動植物園再生基本計画」の目指すべき3つの方向性>（H18策定）

Enjoyment

驚き、楽しみ、学び、活動できる動植物園

Originality

動物と植物が一体となった空間づくり

Locality

福岡市の地域性や南公園の特性を生かしたテーマ設定



<一人一花運動の拠点として植物園が目指す方向性>

一人一花運動を始めたくなるきっかけづくり

様々な主体が交流できる共創の場づくり

一人一花運動を担う人材育成や活躍の場づくり

誰もが訪れたくなるようなワクワク感の向上

動植物園再生計画が目指すべき方向性と一人一花運動の拠点として植物園が目指すべき方向性の両方を実現するための機能をもたせる

植物園一人一花運動拠点機能強化に向けた基本的な考え方 概要版

3.整備方針

(1)空間構成の考え方

動植物園再生計画の方向性と一人一花運動の拠点として目指すべき方向性の両方を実現していくために、植物園において3つの機能をもつ場を展開する

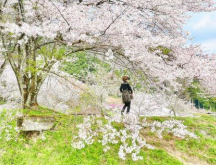
Enjoyment きっかけ 花緑のイベントや音楽フェスなど緑の中で「表現したい」「参加したい」気持ちを満たす場がある	Enjoyment Originality ワクワク 誰もが期待をもって訪れ、もう一度足を運びたいような、シンボリックなフオトスポットがある	Enjoyment 共創の場 市民のWell-beingや企業価値の向上につながるような多彩な活用ができる場がある
Enjoyment Originality ワクワク エリアごと季節ごとに植物を主役とした風景の移り変わりを感じられる空間がある	Originality ワクワク 40年が経過した風格ある樹木や生物多様性に満ちた湿地など豊かな自然を感じられる空間がある	Enjoyment Originality ワクワク 高台からの眺望を活かした多様な視点場など、植物園ならではの憩いの空間がある
Locality きっかけ 活躍の場 ボランティアやガーデナーが学び、実践し、活躍する場がある	Locality 共創の場 Bスクを中心に花・緑に留まらない様々な主体が活動し、交流が生まれる場がある	Locality 活躍の場 共創の場 植物園で生まれた共創の取り組みが、植物園のみならず街なかにも広がるきっかけとなる場がある

- A. 誰もが憧れる表現と交流の場
- B. 植物園特有の緑の風景を楽しむ場
- C. 多様な参加やビジネスにつながる実践の場

(2)エリア構成

上記3つの場の機能を複合的に含むエリアの中に、見どころとなるシンボリックなスポットや眺望を活かしたくつろぎの空間、市民や企業が共創する実践フィールドを配置する。

○花見広場
動物園と植物園の入り口をつなぎ、地域の人々の憩いの場となる空間



○入口広場
植物園の目玉となるような、シンボリックな空間



○エントランスガーデン
バラを主体とした1年中楽しめる、新たな目玉となるガーデン



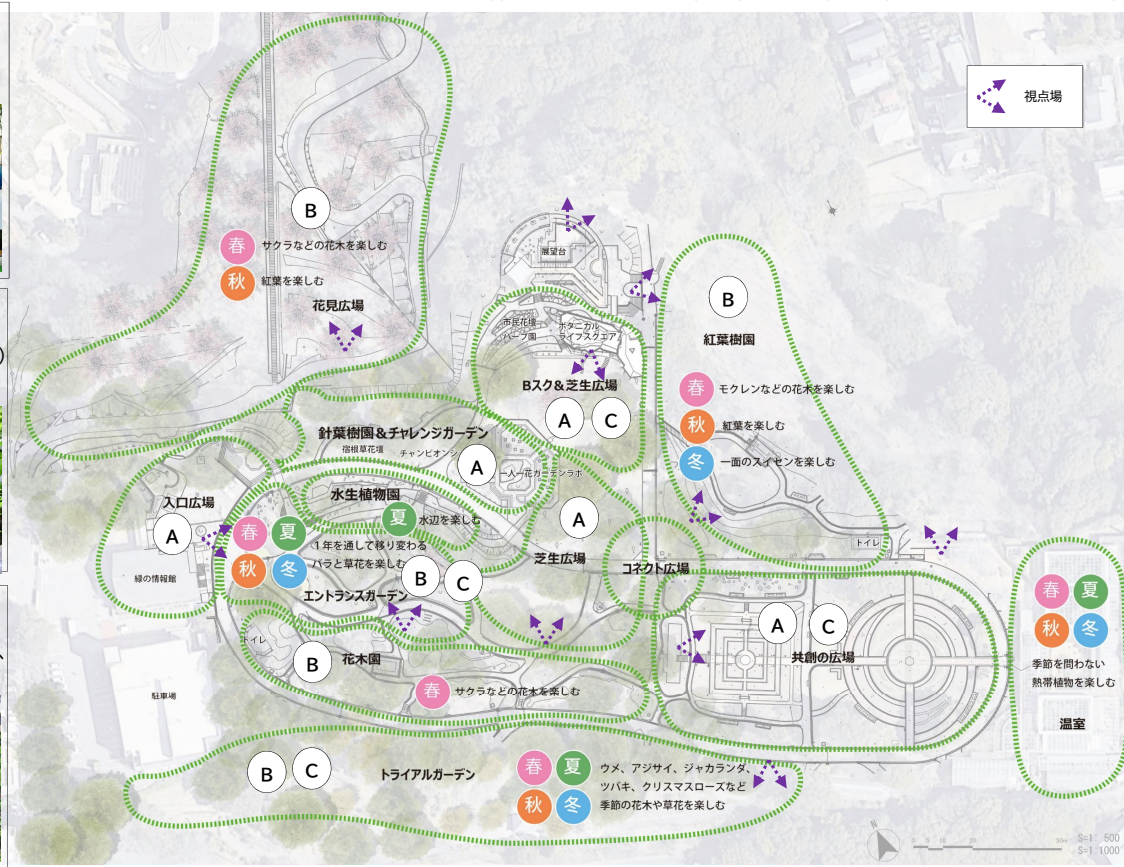
○水生植物園
水辺の風景(鳥・虫など水辺の生き物を含む生態系)に親しめる空間



○花木園
約43種のサクラの開花リレーが楽しめる春の見どころとなる空間



○トライアルガーデン
市民や企業など多様な主体の活動の拠点となる、実践と交流の場

○針葉樹園&チャレンジガーデン
人材育成の実践、チャレンジの場



○紅葉樹園
新緑や紅葉、一面に咲くスイセンやヒガンバナなど季節を感じられる空間



○Bスク&芝生広場
花・緑の良さが感じられるBスクと芝生広場が一体となった活用空間



○温室
季節を問わず楽しめる圧倒的な熱帯植物の空間



○芝生広場
遠足など大人数の利用にも対応できる市民憩いの空間



○共創の広場
ガーデンビジネスに限らず多様に利用される汎用性のある共創の場



・緑の情報館(入口広場含む)・温室(大規模改修)